図書館へ行こう！

特集『待ち遠しいな、春の絵本』

今年は西粟倉もあまり雪が降らず、良かった？残念？な年ですが、少しずつ暖かい日も増え、一歩ずつ春に近づいてきています。春といったら、なんだかワクワク・ウキウキしてしまうのは私だけでしょうか？

ということで、今月はいろいろな春の絵本を集めてみました。あなたは「春」といったら何を想像しますか？

『14ひきのぴくにっく』↗

今日はとてもいい天気、14匹は春の野原にピクニックに行くことに。

おにぎり持って、水筒持って、準備が出来たら出発です。すみれにやまぶき、ぜんまいと森の中は春いっぱい。

『ぽとんぽとんはなんのおと』↓

あなの中で冬ごもりをしている熊のぼうやが、お母さんに聞きました。「ぽとんぽとんはなんのおと？」。春を待つ熊の親子と季節の移り変わりを暖かい言葉で描いた絵本です。

『はるのやまはザワザワ』↓

↑『たんぽぽ』

『ころわんがはるみっけ！』

はるよ、はるよ、はるですよ！

はるはいいこと、いっぱいよ！

わん、わん、わん。いいこと、みつけにいこうっと！ころわんの春探し。どんな春がみつかったかな？

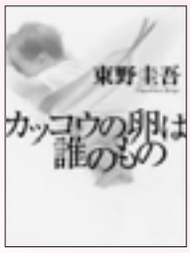
今月の新着本

一般書

『親鸞（上・下）』 五木寛之／著

全国27新聞に連載、2400万読者が熱狂した長編、ついに刊行！愚者か？悪人か？聖者か？地獄は一定と覚悟し、真実を求めて時代の闇を疾走する青春群像。

『カッコウの卵は誰のもの』 東野圭吾／著



元オリンピックに出場した主人公。娘もまた、スキーの有能選手だ。ある研究所が、「有能なスポーツ選手の親子の遺伝子を調べたい」と協力を依頼されるが、かたくなに拒否する。『これは遺伝でもなんでもないのだ、なぜならそれは…。』こいつが犯人？いや、こっちか？え～～、そうだったの～、と２転３転。冬季パラリンピックがいよいよ開幕です。

『キケン』 有川　浩／著

危険な奴らが巻き起こす、熱血（?）青春（??）物語。えっ、理系男子ってこんなにアブナイの？――― 成南電気工科大学にある、「機械制御研究部」なるサークル。ここは、その活動における様々な伝説や破壊的行為から、「キケン」と称され、その黄金時代を描いた物語である。

★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★

☆今月のベストセラー☆

１位	『カッコウの卵は誰のもの』	東野圭吾／著
２位	『親鸞（上・下）』	五木寛之／著
３位	『廃墟に乞う』	佐々木譲／著
４位	『ほかならぬ人へ』	白石一文／著
５位	『キケン』	有川　浩／著

児童書

『ちか１００かいだてのいえ』 いわいとしお／作・絵

大人気「100かいだてのいえ」が今度は地下に・・・！じめんのしたの、ふしぎないえ。地球のなかにはなにがある？

こんどは地下へ！縦に開いて大迫力の『100かいだてのいえ』シリーズ第２弾。

『まくらのせんにん～そこのあなたの巻～』 かがくいひろし/作・絵

キャラクターがとても魅力的!絵本。ぞうさんに、きりんさん、うさぎさんと、次々と謎の穴にはまってゆく動物たち。「う～む。こうなったら、『そこのあなた』にたのむしかないな」と、自らも穴にはまった、まくらのせんにんさま。『そこのあなた』って、誰のこと?!

そして、その先には、驚きのしかけが…!

昨年急逝した人気絵本作家、かがくいひろしさんの遺作です。

『おそうじ隊長』 よしながこうたく/作・絵

「わんぱく小学校」シリーズのテーマはいつも真っ当、待望の第４弾のテーマは「そうじ」です。「なんで ぼくたちの教室でもないのに、そうじしなくちゃいけないんだよ！」当たり前のことなのだけれど、子ども達に伝えようとすると結構難しい･･･そんなテーマに、今回もよしながこうたくさんが 「なるほど、そうだったのか･･･」と納得させてしまう一冊です。

開館時間　10：00～17：00
休 館 日　祝祭日
今月は･･･３月21日. 22日

☆問い合わせ先☆
教育委員会内図書係　TEL 79-2216
こ ど も 図 書 館　TEL 79-2116